

登米市(子ども版)冊子を配布



「登米市の魅力」講話の様子



登米・気仙沼独自ロゴ
自販機を県内 300 台で展開

ポッカサッポロフード&ビバレッジ(以下、ポッカサッポロ社)が、県内に設置している約300台の自動販売機の広告表示部分(インナーパネル)などに、登米市と気仙沼市のポスターを展開しました。これは、ポッカサッポロ社が、NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」の舞台である両市を応援する取り組みとして実施したものです。登米、気仙沼の風景とロゴが使われたポスターを、自動販売機の広告表示部分や一部の量販店で展開しています。掲示期間は11月までを予定しており、市内では道の駅みなみかた「もっこのり」など5カ所に設置しています。

**登米市の魅力を発信
朝ドラ契機に冊子を作成**

市では、登米市の魅力や産業を発信することを目的として冊子「連続テレビ小説「おかえりモネ」×登米市(子ども版)」を作成し、7月には、市内の各学校を通して、小・中・高校生に配布しました。

冊子は、A4サイズの16ページで構成し、ドラマのヒロインである清原果耶さんが表紙。児童と生徒に向けた清原さんからの手書きメッセージから始まり、「おかえりモネ」の番組情報、気象予報士と登米市の林業の取り組みについて、マンガなどで紹介し、子どもにも理解しやすい内容で掲載しました。

冊子の発行に伴い、7月8日には、佐沼小学校で「ふるさと登米市の魅力を見つけて紹介しよう」を総合的な学習の時間に実施。同校の4年生110人を対象に、市職員が講師を務め、今回作成した冊子と観光パンフレットを活用して、市の魅力を子どもたちに講話しました。

講話では、「伊豆沼・内沼」「林業」「能舞台・登米能」「畜産」を中心に、市の観光や産業について説明。児童は「お米はどれくらい採れるんですか」「登米産の仙台牛は何キロくらい採れるんですか」「採れたお肉ではどんな料理が作れますか」「1年間に何本の木を切っているんですか」など、積極的に質問をしていました。

**市外在住者へ
PR冊子を送付します**

市では、今回作成した冊子「連続テレビ小説「おかえりモネ」×登米市(子ども版)」のほか、「同(観光版)」、「NHKウイークリーステラ特別編集版「登米市紀行」」を、コロナ禍で帰省できない本市出身者や観光に来られない市外在住者を対象に、無料(送料を含む)で送付しています。

詳しくは、問い合わせください。

登米市の魅力をもっと知りたい

今まで、登米市に住んでいると当たり前にあると思っていた長沼フットピア公園などの建物が、登米市に住んでいる人たちにとっては珍しく、魅力があると知りました。

総合的な学習の時間の話の中では、林業についての話が一番印象に残って

います。登米市にたくさんある木も、一本一本が何十年という長い年月をかけながら成長していると聞いて、驚きました。

これからもっと登米市の魅力や建物などについて、勉強していきたいと思っています。

いろいろな施設に行ってみたい

総合的な学習の時間で話を聞いて、生まれてから今まで登米市に住んでいても、知らないことがいっぱいあるんだと感じました。

特に、登米市の林業で採れた木の量が、宮城県的林業の中でも多いのだということを初めて知って、とても驚き

ました。

1年生のときに、歴史博物館に行ったことはあったけれど、その他にもいろいろな施設があるということも初めて知りました。

いつか登米市をもっと知るために行ってみたいと思います。



佐沼小4年
西條斗真くん



佐沼小4年
梶原美咲さん